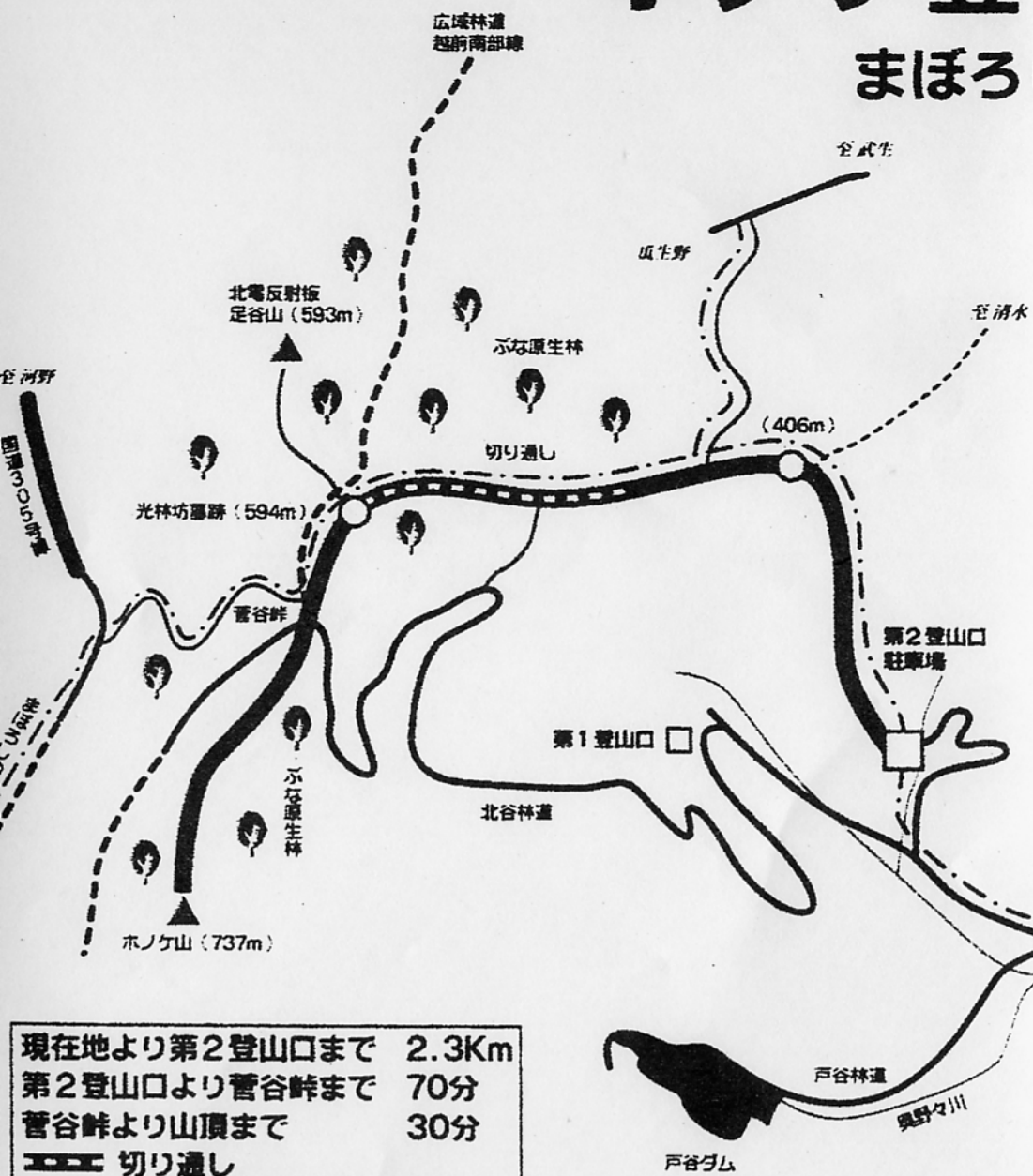


ホノケ登山道案内図

まぼろしの北陸道



ホノケ山は、むかしノロシをあげて京の都や府中（武生）急を知らせるノロシ台があったことからこの名がついたと書れています。山頂からは丹南の平野や敦賀湾・日本海が眼下見え、素晴らしい眺めです。自然が多く残る山として親しまれています。

登山道の大部分を占める「まぼろしの北陸道」は、若狭・来・塩の道・古北陸道とも呼ばれ、かつては軍事・経済上大な役割を果たした道路です。ブナの原生林の中を走る「切り通し」は、深さ6mにも達するところもあり、この道路が北陸の大事な道であったことを物語っています。だが、この道にする確かな記録はないので、「まぼろしの北陸道」と呼ばれるようになりました。

現在地より第2登山口まで 2.3Km
 第2登山口より菅谷峠まで 70分
 菅谷峠より山頂まで 30分
 ■ 切り通し
 - - - 線が「まぼろしの北陸道」

